



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

— 2021 年度 課題別研修事業 —
(終了時評価—2022 年 4 月)

漁船員養成（乗船）コース

研 修 生 受 入 の 概 要

研修コース名	漁船員養成（乗船）コース
参加国及び参加人数	2 か国 8 名（ミクロネシア連邦 4 名、パプアニューギニア独立国 4 名）
研修コース実施の経緯と背景	<p>我が国かつお・まぐろ漁業の重要な漁場をその EEZ に有する太平洋島嶼国では、自国のかつお・まぐろ資源を最大限に活用した経済発展を目指しており、その方策の一環として自国水域に入漁する外国漁船や合弁漁船に自国民を乗船させ雇用拡大を図ろうとしている。</p> <p>本研修は、ミクロネシア連邦（以下「ミクロネシア」という。）及びパプアニューギニア独立国（以下「PNG」という。）両国から要望された自国民乗組員の育成を行うもので、太平洋島嶼国からの研修生の「漁船乗組員としての資質の向上」及び「漁撈活動に従事するための基礎能力の習得」を図ることにより、当該国の沖合漁業の振興への貢献と、我が国との協力関係の維持・発展を図るために設定されたコースである。</p> <p>なお、研修を修了した太平洋島嶼国の乗組員は、将来的には日本漁船に就業の場を求めることもあり、乗組員不足に直面する我が国遠洋漁業の支援となることも期待される。</p>
研修期間及び研修場所	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により本邦内での対面による一般研修及び技術研修を実施できなかったため、自国において動画テキストを視聴した。
上位目標	関係途上国の水産業における雇用が増大する。
研修目標	良質な部員クラスの漁船乗組員に必要な基礎知識が習得できる。
成 果	作成した視聴覚教材をミクロネシア及び PNG の研修生に配付した。研修生はこの教材で、操業中の危険回避行動や救命胴衣の着衣方法、入水時の対応方法、ファーストエイドに関する知識、初期消火方法、ロープワーク等、海外まき網漁業及び船上甲板員に求められる基礎知識を習

	得した。研修生が習得した知識が自国、あるいは我が国の海外まき網漁船に就業した際に活用されることが期待される。
活 動	2021年10月の研修開始に向けて諸手続きを進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う渡航制限による外国人研修生受入れを取り巻く環境は厳しく、ミクロネシア及び PNG から日本での研修はできないとの通知があり、申請団体の海外まき網漁業協会から日本での研修の参加辞退の申し入れがあった。このため、実施計画を変更し、本邦での研修を取りやめ、まき網漁船の甲板部員に必要な基礎知識をとりまとめた動画テキストを作成し、2か国8名の研修生が自国にて聴講する方式で実施した。
投 入	財団側 視聴覚教材（海外まき網漁業の DVD 動画教材） 受入対象国側 投入なし

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 研修実施計画は相手国のニーズに合致していたか

ミクロネシア及び PNG は、かつお・まぐろ漁業の開発振興を国の重要な政策としている。また、国内に就業の場が少ない若年層の雇用促進策の一環として、我が国の遠洋漁船への乗船も推し進めている。本研修は、まき網漁船を対象とした部員クラスの漁船乗組員の育成を目標としており、ミクロネシア政府及び PNG 政府の漁業振興政策及び若年者層雇用促進施策を支援するもので、当初の研修実施計画は相手国のニーズに十分合致するものであった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で実施計画を変更し、本邦での研修をとり止め、動画テキストの視聴のみとなったことからニーズに十分対応できない点があった。

2. 研修実施計画の妥当性（一般研修・技術研修）

変更後の実施計画において作成した動画テキストは、我が国の海外まき網漁船に乗船して研修を受ける甲板員候補者が学ぶべき、甲板員としての心得等を収録したものであり、当初の研修実施計画の一部を代替するものとして妥当であった。

3. 研修実施計画は、一般研修期間及び技術研修期間中の研修生活の実態を考慮して作成されたか

「研修生受入の概要」に記載した事情により、来日による研修は実施できなかったため、評価は困難と認められることから評価しない。

4. その他
特になし。

◆ 効率性

1. 講師、研修施設、研修資機材等は計画通りに投入され、期待される成果を上げたか

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う渡航制限により、本邦における一般研修及び乗船研修を取りやめざるを得なかった。このため、本研修コース参加予定者 2 か国 8 名を対象として、まき網漁船の甲板部員に必要な基礎知識をとりまとめた動画テキストを作成、配付し、自国で研修生に動画テキストを視聴させ、彼らの海外まき網漁業の基礎知識の向上を図った。当初計画していた本邦研修の大部分は実施することができなかった。

2. 研修内容、水準、技術指導方法は適切に実施されていたか

上記 1. に記載した事情により、来日による研修は実施できず、自国での動画テキストの視聴を試みたが、当初予定していた研修プログラムの大部分は実施できなかったため評価は困難と認められることから評価しない。

3. その他（研修の効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆ 有効性

1. 研修目標の達成度

研修目標：良質な部員クラスの漁船乗組員が育成される

本研修では、我が国の海外まき網漁船に乗船して研修を受ける甲板員候補者が学ぶべき甲板員としての心得を動画教材の活用により学ばせることができたが、ロープワークや救急救命などの実習訓練ができなかったことから、全ての研修目標を達成することはできなかった。

2. その他（研修生の研修意欲・研修満足度等及び職場における社会・文化、制度上の環境等外部要因が、研修目標の達成に与えた影響等）

特になし。

◆ インパクト

1. 上位目標の達成に対する研修目標の達成の効果は、どの程度見込まれるか

研修目標である良質な部員クラスの漁船乗組員に必要な基礎知識については、動画テキストを活用し一部学ばせることができたが、漁船乗組員としての資質の向上や漁撈活動に従事する

ための基礎能力の習得を十分に図ることができず、上位目標である関係途上国の水産業における雇用の増大を見込むことは困難である。

2. 分野別研修事業は、政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果又は負の影響が見込まれるか

ミクロネシア、PNGの両国は自国のかつお・まぐろ資源を最大限に活用した経済発展を目指しており、その方策の一環として自国水域に入漁する外国漁船や合弁漁船に自国民を乗船させ雇用拡大を図ろうとしている。新型コロナウイルス感染症の拡大により本邦での一般研修及び乗船研修を取りやめたことにより、同国乗組員の育成と沖合漁業の振興に対する効果は限定的である。

3. その他（計画当初予見できなかった効果又は負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. 研修生は帰国後、研修の成果を有効に活用している（できる見込み）か

「研修生受入の概要」に記載した事情により、来日による研修は実施できなかったが、動画テキストの視聴によりまき網漁業の基礎知識を一部学ばせることができた。このことは自国の漁船乗組員の育成に一定程度役立つ見込みである。しかし、実際に乗船による研修は実施できなかったことから、船上において研修の成果を有効に活用できるかどうか評価が困難であることから評価はしない。

2. その他（相手国及び研修生の自立発展に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上